

第 20 回「野生生物と社会」学会犬山大会：ポスター発表

コアタイム：11 月 01 日（土）11:30～13:00

所属は筆頭者のみ示しています。

ポスター賞候補者のポスター番号には＊を付けています。

- P-1** 犬山里山学センターにおけるフィールド・ミュージアム活動
林 進（NPO 犬山里山学研究所）・高野明香・大仲知樹
- P-2** インタープリテーションの企画・主催者のためのプラクティカル・デザイン
田代優秋（公益財団法人 公害地域再生センター）・松田春菜
- P-3** 生物多様性に影響を及ぼす奨励措置
鈴木希理恵（特定非営利活動法人 野生生物保全論研究会）・高橋雄一
- P-4** 愛知県豊根村における「わな特区」制度の実態と効果
山下昇（愛知県森林・林業技術センター）・石田 朗・江口則和
- P-5** 和歌山県中山間地域集落における地域ぐるみの獣害対策の促進
小野 晋（株式会社 地域環境計画）
- P-6*** 行政への信頼度と地域住民の野生動物被害対策に対する意識の関連
藤野亜沙美（東京農工大学）・梶 光一
- P-7*** 社会的規範が市民の環境保全行動に及ぼす影響： Web アンケートを用いた分析
今井葉子（独立行政法人国立環境研究所）・上市秀雄・角谷 拓・高村典子
- P-8** シマフクロウを題材に野鳥撮影の規制を考える
高橋満彦（富山大学）・早矢仕有子
- P-9** スポーツハンティングに対する是非の判断—簡易講義を通した大学生の意識変化調査—
安田章人（九州大学・基幹教育院）・横山章光・桜井 良・任 真弓加
- P-10** 自然保護区管理の民営化と私設自然保護区の役割-アフリカの動向から（仮）
西崎伸子（福島大学行政政策学類）
- P-11** 野生鳥獣専門員の活動と駆除動物の科学的活用ならびに環境教育への活用
竹下 毅（長野県小諸市役所）
- P-12** 野生生物保護管理専門職の現場教育の可能性-その 2-
中川 元（公益財団法人知床自然大学院大学設立財団）・梶 光一・大泰司紀之・田中俊次
- P-13*** 大学における施設訪問型の野生生物保全教育の効果について
本田裕子（大正大学）・高橋正弘
- P-14*** 絶滅危惧種ボノボによる二次的自然の利用：行動特性と保全のリンクに向けて
寺田佐恵子（京都大学霊長類研究所）・古市剛史・湯本貴和

- P-15 野生チンパンジーと飼育かチンパンジーのヒト由来病原体への暴露に関する血清学的研究**
郡山尚紀（酪農学園大学獣医学群）・伊藤葉子
- P-16 ダム開発がニホンザルの生息地に及ぼす影響：白神山地を事例に**
江成広斗（山形大学農学部）・坂牧(江成)はるか
- P-17 奈良県におけるニホンザルの群れ数及び個体数の推定**
若山 学（奈良県森林技術センター）
- P-18* 奥多摩湖周辺に生息するニホンザルの遊動と植生**
内藤 将（帝京科学大学大学院）・島田将喜
- P-19 ラジオテレメトリー法とカメラトラップ法による生息地利用解析**
逸見紀章（立正大学地球環境科学研究科）・須田知樹
- P-20 京都盆地周縁の寺社における野生動物の出現状況**
飯田義彦（京都大学大学院地球環境学舎）・岸田洋弥・東口 涼・吉岡憲成・曾和治好・柴田昌三
- P-21 海外における野生動物と車両との衝突件数を示す指標及び収集方法**
野呂美紗子（一般社団法人 北海道開発技術センター）・原 文宏・萩原 亨
- P-22* ヤンバルクイナの鳴き声成分に関する研究**
田崎駿平（琉球大学大学院農学研究科）・比嘉瑞希・山本以智人・平山琢二
- P-23 狩猟者の減少は狩猟鳥に影響を与えるか？**
奥山正樹（日本環境安全事業（株））
- P-24 ツル類の捕獲装置～越冬個体の利用環境から見た運用**
塩谷克典（一般財団法人 鹿児島県環境技術協会）・中園敏之・外園九十九・稲留陽尉・宮崎泰子・安藤恵美子・岡田 滋・田中英昭・三浦敬紀
- P-25 大分市一木地区における官・民・学連携によるアライグマ防除**
池田 透（北海道大学大学院文学研究科）・島田健一郎・中井真理子・鈴木嵩彬・内田 桂
- P-26 野幌森林公園における鳥類の生物多様性の維持機構に関する研究**
鈴木 透（酪農学園大学環境共生学類）
- P-27 ソーラーパネルへの鳥類の糞害に関する研究**
北野雅人（株式会社 竹中工務店）・宮田弘樹
- P-28 名古屋市におけるハシブトガラスの市街地進出**
橋本啓史（名城大学農学部）・服部 愛・日野輝明
- P-29 ベアドッグの有効性の評価ー軽井沢町におけるカレリア犬を用いた追い払い事例からー**
田中純平（特定非営利活動法人 ピッキオ）・玉谷宏夫・大嶋元・キャリーハント・小山 克

- P-30 コナラ堅果と寄生ゾウムシの栄養特性ならびにクマによる採食性**
時田昇臣（日本獣医生命科学大学）
- P-31 目撃情報から見た石川県におけるツキノワグマの出没動向**
野崎英吉（石川県環境部自然環境課）・野上達也・江崎功二郎・有本勲・森岡育代
- P-32 知床半島におけるヒグマの移動分散についてー 知床半島ヒグマ保護管理方針に対する保護管理上の示唆ー**
山中正実（知床博物館）・下鶴倫人・中西将尚・増田 泰・坪田敏男
- P-33 オガサワラオオコウモリによる農業被害事例と被害軽減対策**
宗 芳光（東京都肥飼料検査センター）・大林隆司・鈴木直子・鈴木 創
- P-34 熊谷市に生息するコウモリ 3 種の分布パターン**
町田和彦（立正大学地球環境科学研究科）・須田知樹
- P-35* 神戸市イノシシ条例に対する市民及び六甲山利用者の理解度に関する研究**
池谷直哉（兵庫県立大学大学院環境人間学研究科）・松金(辻)知香・横山真弓
- P-36* 薩摩半島における環境要因と対策意識が甘藷畑周辺のイノシシの分布に与える影響**
室屋敦紀（宮崎大学農学部 森林緑地環境科学科）・西脇亜也
- P-37 イノシシはヤーコンとエゴマを食べるのか？**
菅野泰弘（島根県中山間地域研究センター）・澤田誠吾・堂山宗一郎・稲田 修
- P-38 積丹の海を回遊するカマイルカの音声解析**
松代真琳（酪農学園大学獣医学群）・水口大輔・押味千華・神保恵里・前田早希・郡山尚紀
- P-39* アカウミガメの産卵場所と海浜植生との関係**
渡部千尋（宮崎大学農学部森林緑地環境科学科）・西脇亜也
- P-40 "法律から見る「道路での銃器を用いたシカ捕獲」・主要幹線道路である国道で実施できるのか？ -"**
寺尾愛也（酪農学園大学大学院酪農学研究科）・日野貴文・鈴木正嗣・近藤誠司・吉田剛司
- P-41* シカ捕獲の担い手育成の必須条件とは？ー独英の資格から考えるー**
東谷宗光（酪農学園大学）・伊吾田宏正・松浦友紀子
- P-42 モバイルカリングによるニホンジカ季節移動個体の捕獲**
丸山哲也（栃木県林業センター）・高橋安則
- P-43* なぜ嬭恋村の農作物被害は減少しないのか？～カモシカ密度と大型獣の農地出没から読み解く～**
關 義和（日本獣医生命科学大学）・筒井知美・羽山伸一
- P-44 岐阜県の落葉広葉樹林の下層植生に対するニホンジカの影響**
角田裕志（岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター）・和田 敏

P-45* 都市近郊に生息するエゾシカの生息動向と土地利用

古賀彩音（酪農学園大学大学院）・本間由香里・伊吾田宏正・吉田剛司・赤坂 猛・金子正美・松浦友紀子・立木靖之

P-46 岐阜県内の採草地におけるニホンジカの出没状況

岡本卓也（岐阜県森林研究所）・横田隆博

P-47 和歌山県中部および南部地域におけるニホンジカのライトセンサス

法眼利幸（和歌山県果樹試験場）・植田栄仁・大谷栄徳・栗生 剛・山本浩之

P-48 ニホンジカの採食圧による下層植生の衰退に伴う鳥類群集の変化

佐藤重穂（森林総合研究所四国支所）

P-49* ニホンジカ初期侵入個体群の土地利用特性—山形県の事例—

江成はるか（雪国野生動物研究会）・江成広斗・斉藤正一・伊藤志津・渡邊久光・蛭原紘子

P-50 広葉樹植栽地における捕獲実施によるシカ出沒状況への影響

八代田千鶴（森林総合研究所関西支所）・森元萌弥・中須真史・岡本宏之・鈴木正嗣

P-51* 北海道道南地域のニホンジカにおけるロタウイルス A およびコロナウイルス遺伝子保有状況および抗体保有状況

松山亮太（岐阜大学大学院連合獣医学研究科）・岡寺康太・柳川洋二郎・三竹博道・小林恒平・中村大輔・浅野 玄・伊藤直人・秦 寛・近藤誠司・恒光 裕・杉山 誠・鈴木正嗣